

MISA SHIN GALLERY

3-9-11-1F, Minamiazabu, Minato-ku, Tokyo 106-0047 JAPAN
tel:+81-(0)3-6450-2334 fax:+81-(0)3-6450-2335
www.misashin.com info@misashin.com

プレスリリース

2019年6月

志水 兎王 Shimizu Jio

window

会期：2019年6月28日（金）－8月10日（土）

オープニングレセプション：6月28日（金）18:00-20:00

開廊時間：火-土（日月祝休）12:00 - 19:00



Shimizu Jio, *window*, 2016, Mixed media Installation, 220 x 400cm.
Installation view at "diaphanes" Hiroshima City University Art Museum. Photo: Kensuke Hashimoto

MISA SHIN GALLERY では2019年6月28日（金）から8月10日（土）まで、志水兎王の個展「window」を開催します。

志水は、音や光、振動など物理世界を構成する微細な要素を表現素材とし、それらが引き起こす現象とその知覚、運動と要素の発生、芸術と自然科学との関係などを実証論的なアプローチで表現するアーティストです。

本展では、Twitter を用いた作品「window」を中心に、放射線（放射能）を捉えて十二平均律に変換する作品「decay music」を展示します。

Twitter をリアルタイムに世界規模で監視する「window」は、7ヶ国語に翻訳された「light」と「darkness」という2つのキーワードを含む tweet が、世界のどこかでつぶやかれた瞬間に左

MISA SHIN GALLERY

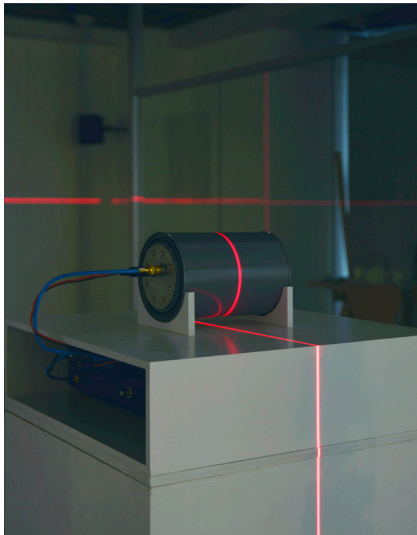
3-9-11-1F, Minamiazabu, Minato-ku, Tokyo 106-0047 JAPAN

tel:+81-(0)3-6450-2334 fax:+81-(0)3-6450-2335

www.misashin.com info@misashin.com

右2枚の発光パネルに明滅し、世界規模の思考の動きを示すビッグデータが顕在化する作品です。

2枚の発光パネルは中央のパネルとともに、ヒエロニムス・ボスの三連祭壇画「快樂の園」の大きさとフォーマットを踏襲したトリプティックです。祭壇画であるにもかかわらず、快樂の誘惑や人間の愚行を細密に描き、今も作品の解釈が議論され続けている、同時期の他の初期フランドル派とは一線を画したボスの「快樂の園」は、本作品のキーワードである「光」と「闇」が、ボスの「天国」と「地獄」に連動し、人間の行為や愚かささえも監視され、中央の^{ヴォイド}空洞に帰することを暗示します。



Shimizu Jio + Hiroyuki Iida, *Decay music*, 2017,
Mixed media installation, Dimensions variable.
Installation view at "Threshold", Art Gallery Miyaochi,
Hiroshima.

また、WrK レーベルでも活動を共にした飯田博之との共作、decay music (2017) は室内に置かれたシンチレーターにより展示空間を飛び交う放射線 (γ 線) を捉え、エネルギーの高低を平均律音階へと自動演奏させる作品です。つまり高いエネルギーを感知した時には高い音が、低いエネルギーを感知した時には低い音を奏で、東京、広島、福島、チェルノブイリといった場所によって演奏は異なり、作品が設置された場所や環境が作曲者であり演奏者となります。人間の知覚や感覚を超絶した存在と時間芸術である平均律音階を関連付ける試みは、生命が誕生する遙か以前から存在し、人間の進化や文明に多大な影響を及ぼしてきた放射線や地殻変動といった時間の流れの前では我々の存在はほんの一瞬に過ぎないことに気づかされます。

MISA SHIN GALLERY では4年ぶりの個展となる、志水 児王「window」、ぜひご高覧ください。

志水 児王

東京生まれ。広島県・埼玉県在住。東京藝術大学美術学部大学院修了。1994～2006年、レーベル「WrK」に参加。2008年度文化庁新進芸術家海外研修制度により、2008-2010年コペンハーゲン在住。広島市立大学芸術学部准教授。主な展覧会に、「六本木クロッシング」森美術館（東京/2004）、「釜山ビエンナーレ 2008」釜山市立近代美術館（釜山/2008）、「日本のサウンドアート」ロスキレ現代美術館（コペンハーゲン/2011）、「オープンスペース 2014」NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]（東京/2014-2015）、「Re-actions」三菱地所アルティアム（福岡/2017）、「第21回文化庁メディア芸術祭 国立新美術館（東京/2018）、「対馬アートファンタジア」（長崎/2018）など。現在、「瀬戸内国際芸術祭 2019」に参加している。

お問い合わせ： info@misashin.com tel:03-6450-2334